

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                   | 施 策                         | 数値目標・KPI                                 | 区分   | 単位          | 基準値<br>(H30年度<br>実績値)               | R2年度  |       |        | R3年度  |       |         | R4年度  |       |         | R5年度  |       |         | R6年度<br>目標値                                                                                                   | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                  | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                                                                      |
|-----|------------------------|-----------------------------|------------------------------------------|------|-------------|-------------------------------------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                        |                             |                                          |      |             |                                     | 目標値   | 実績値   | 達成率    | 目標値   | 実績値   | 達成率     | 目標値   | 実績値   | 達成率     | 目標値   | 実績値   | 達成率     |                                                                                                               |                                                                                                                                               |                                                                                                                                                             |
| 1   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | ★数値目標                       | 2025年までの転出・転入を均衡(累計)                     | 増加指標 | 人/年<br>(累計) | ▲275(直近5年間<br>(26～30年度)の<br>累計▲103) | 0     | 9     | 108.7% | 0     | ▲ 441 | -328.2% | 0     | ▲ 362 | -251.5% | 0     | ▲ 475 | -361.2% | 0                                                                                                             | 本市の社会増減では、県外へは転出超過、県内他市町村からは転入超過の傾向が続いている。県外へは若者の大学進学や就職を契機とする転出が多い。R5年度は、R4年度に比べ県外への転出超過が増加し、全体として113人の転出超過となった。R2年度以降の累計も目標値を下回っている状況である。   | 引き続き、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる社会環境を目指して各施策に取り組む。また、UIJターンを促進するとともに、働く場を確保し、住みやすく、活動しやすい地域を作り、移住イベントやSNSを活用し本市の魅力を発信することにより、転出の抑制と転入の促進を図る。                     |
| 2   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 住みよい魅力のPR、受け入れ環境の整備による移住の推進 | 2025年までの転出・転入を均衡(累計)<br>【再掲(Na.1)】       | 増加指標 | 人/年<br>(累計) | ▲275(直近5年間<br>(26～30年度)の<br>累計▲103) | 0     | 9     | 108.7% | 0     | ▲ 441 | -328.2% | 0     | ▲ 362 | -251.5% | 0     | ▲ 475 | -361.2% | 0                                                                                                             | 本市の社会増減では、県外へは転出超過、県内他市町村からは転入超過の傾向が続いている。県外へは若者の大学進学や就職を契機とする転出が多い。R5年度は、R4年度に比べ県外への転出超過が増加し、全体として113人の転出超過となった。R2年度以降の累計も目標値を下回っている状況である。   | 引き続き、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる社会環境を目指して各施策に取り組む。また、UIJターンを促進するとともに、働く場を確保し、住みやすく、活動しやすい地域を作り、移住イベントやSNSを活用し本市の魅力を発信することにより、転出の抑制と転入の促進を図る。                     |
| 3   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 若者の就職支援・UIJターンの推進・雇用の安定     | 県Uターン就職率                                 | 増加指標 | %           | 58.2                                | 58.6  | 58.0  | 99.0%  | 58.8  | 57.9  | 98.5%   | 59.0  | -     | -       | 59.5  | 55.3  | 92.9%   | 60.0                                                                                                          | 少子化やコロナ禍からの企業の業績回復の影響などから、人手不足が続いており、全国的に有効求人倍率が高いことから、学生の就職先としての選択肢が増加していると考えられ、目標値には達していない。Uターン率の上昇に向け、学生に市内企業の魅力を伝えられるよう、事業を展開する必要があると考える。 | 今後もハローワークや商工会議所、呉西圏域の各市等と連携をとりながら、UIJターン就職促進事業の取り組みを進めていく。呉西圏域での就業マッチングや高校生向けキャリアサポートセミナー、大学訪問のほか、令和5年度から実施したインターンシップ推進事業を通じて、UIJターン就職及び地元定着への意識付けの取り組みを行う。 |
| 4   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 定住の促進                       | 2025年までの転出・転入を均衡(累計)<br>【再掲(Na.1)】       | 増加指標 | 人/年<br>(累計) | ▲275(直近5年間<br>(26～30年度)の<br>累計▲103) | 0     | 9     | 108.7% | 0     | ▲ 441 | -328.2% | 0     | ▲ 362 | -251.5% | 0     | ▲ 475 | -361.2% | 0                                                                                                             | 本市の社会増減では、県外へは転出超過、県内他市町村からは転入超過の傾向が続いている。県外へは若者の大学進学や就職を契機とする転出が多い。R5年度は、R4年度に比べ県外への転出超過が増加し、全体として113人の転出超過となった。R2年度以降の累計も目標値を下回っている状況である。   | 引き続き、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる社会環境を目指して各施策に取り組む。また、UIJターンを促進するとともに、働く場を確保し、住みやすく、活動しやすい地域を作り、移住イベントやSNSを活用し本市の魅力を発信することにより、転出の抑制と転入の促進を図る。                     |
| 5   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 空き家対策の推進                    | 市内の空き家数(住宅・土地統計調査による空き家のうちその他の住宅)の増加率    | 減少指標 | %           | 8.3<br>(H25⇒H30の増加率)                | -     | -     | -      | -     | -     | -       | -     | -     | -       | 25以下  | 10.1  | 247.5%  | -                                                                                                             | 市内の管理不全な空き家について、助言・指導を実施した。                                                                                                                   | R5年度からまちなか空き家除却支援事業により、老朽危険空き家になる前に除却を促すなどの取り組みを開始したほか、所有者不存在の空家等への対応を実施する。                                                                                 |
| 6   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 空き家対策の推進                    | (補足指標)<br>空き家と住まいの総合相談所に寄せられた空き家の相談件数の増加 | 増加指標 | 件           | 55                                  | 61    | 39    | 63.9%  | 62    | 92    | 148.4%  | 63    | 154   | 244.4%  | 65    | 181   | 278.5%  | 66                                                                                                            | R5年度の固定資産税納税通知書への空き家に関するチラシの同封により、空き家に対する意識啓発を図るなどの取り組みを実施し、目標を上回る相談件数となった。                                                                   | 引き続き、総合相談所の周知に努めるほか、市民の空き家に対する関心、意識啓発を促進する取り組みにより、空き家相談等を通じた空き家対策の推進を図る。                                                                                    |
| 7   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 関係人口や大学生のまちづくりへの参画の促進       | 県内大学卒業生の県内定着率                            | 増加指標 | %           | 51.9                                | 52.9  | 54.9  | 103.8% | 53.9  | 55.2  | 102.4%  | 54.9  | 53.6  | 97.6%   | 55.9  | 56.4  | 100.9%  | 56.9                                                                                                          | 比較的外県出身者の割合が高かった富山大・富山県立大・高岡法科大について、県内企業への就職率が高まってきており、目標を達成することができた。                                                                         | 市内にキャンパスがある富山大・高岡法科大について、大学と連携した授業を展開している。地元のまちづくりについて学べるカリキュラムについて大学との連携を強化し、地域への愛着形成を促していくことで、さらなる学生の県内就職率の向上を図る。                                         |
| 8   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | 地元に着定する大学生へのインセンティブの付与      | 県内大学卒業生の県内定着率<br>【再掲(Na.7)】              | 増加指標 | %           | 51.9                                | 52.9  | 54.9  | 103.8% | 53.9  | 55.2  | 102.4%  | 54.9  | 53.6  | 97.6%   | 55.9  | 56.4  | 100.9%  | 56.9                                                                                                          | 比較的外県出身者の割合が高かった富山大・富山県立大・高岡法科大について、県内企業への就職率が高まってきており、目標を達成することができた。                                                                         | 市内にキャンパスがある富山大・高岡法科大について、大学と連携した授業を展開している。地元のまちづくりについて学べるカリキュラムについて大学との連携を強化し、地域への愛着形成を促していくことで、さらなる学生の県内就職率の向上を図る。                                         |
| 9   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | まちなか居住の推進                   | まちなか区域における居住支援に伴う居住人数(累計)                | 増加指標 | 人           | 86                                  | 60    | -     | 65.0%  | 380   | 171   | 77.1%   | 440   | 85.5% | 500     | 221   | 91.0% | 720     | R2年度の方譲マンション(民間再開発事業)竣工を契機に、260人の居住(目標値)を見込んでいたが、R5年度末時点においては、実績値が目標値を下回った。しかしながら、R4年度からR5年度にかけても20人の増加が見られた。 | Aゾーンにおける再開発事業については、R2年度から民間事業者に対して支援を行い、R5年11月に竣工を迎えたことから、更なる居住人口の増加が期待される。                                                                   |                                                                                                                                                             |
| 9   | ①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる  | まちなか居住の推進                   | まちなか区域における居住支援に伴う居住人数(累計)                | 増加指標 | 人           |                                     |       | 39    |        |       | 122   |         |       |       |         | 175   |       |         | たかおか暮らし支援事業との併用ができない国の支援制度の利用により、まちなか区域での申請数が減少し、目標値を下回る実績となった。                                               | 住宅取得への支援に加えて、リフォームに対する支援制度について更なる周知に努め、まちなか区域への居住促進を図る。                                                                                       |                                                                                                                                                             |
| 10  | ②安心して子どもを生ま育てられるまちをつくる | ★数値目標                       | 待機児童の数                                   | 維持指標 | 人           | 0                                   | 0     | 0     | 100.0% | 0     | 0     | 100.0%  | 0     | 0     | 100.0%  | 0     | 0     | 100.0%  | 0                                                                                                             | 本市では待機児童はいないものの、一部の地域では希望する保育所への入園が困難な児童が発生している。需要の多い0～2歳児の保育供給量増加に向け、幼稚園・保育園からの認定こども園への移行を推進している。                                            | 待機児童がいらない状態を維持しつつ、今後の児童数の推移を踏まえ、認定こども園移行及び施設の統廃合等に取り組む。                                                                                                     |
| 11  | ②安心して子どもを生ま育てられるまちをつくる | ★数値目標                       | 放課後児童クラブの入所者数                            | 増加指標 | 人           | 1,190                               | 1,406 | 1,290 | 91.7%  | 1,446 | 1,322 | 91.4%   | 1,446 | 1,316 | 91.0%   | 1,526 | 1,341 | 87.9%   | 1,634                                                                                                         | 放課後児童クラブのニーズが高まっており、公設民営の供給が追いついておらず、受け皿の確保が課題となっている。目標値を下回っているが、R5年度は新たに民間の2クラブを開設支援したことで、入所者数はR4年度からR5年度にかけて増加となった。                         | 放課後児童クラブのニーズ増加が見込まれる校区において、空き教室や公共施設を利用した整備を検討するとともに、民間のクラブに対し開設支援を継続し、受皿の確保を図っていく。                                                                         |

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                      | 施 策                       | 数値目標・KPI                                 | 区分   | 単位      | 基準値<br>(H30年度実績値)  | R2年度   |        |        | R3年度   |        |        | R4年度   |        |        | R5年度   |         |        | R6年度<br>目標値 | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                                                             | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                          |
|-----|---------------------------|---------------------------|------------------------------------------|------|---------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                           |                           |                                          |      |         |                    | 目標値    | 実績値    | 達成率    | 目標値    | 実績値    | 達成率    | 目標値    | 実績値    | 達成率    | 目標値    | 実績値     | 達成率    |             |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                 |
| 12  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | ★数値目標                     | 10歳未満の子どもの数                              | 増加指標 | 人       | 11,984<br>(R1年度実績) | 12,004 | 11,449 | 95.4%  | 12,024 | 11,256 | 93.6%  | 12,044 | 11,013 | 91.4%  | 12,064 | 10,617  | 88.0%  | 12,084      | 子どもを生む可能性のある女性人口の減少、全体としての未婚率の上昇のため、出生数の減少に歯止めがかかっていない。                                                                                                                                  | 若者、女性の働く場を確保、支援の充実などにより、安心して子どもを育てられる環境を整え、支援等のさまざまな情報を発信することで、転出の抑制と転入の促進を図る。                                  |
| 13  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | ワーク・ライフ・バランスの推進           | ワーク・ライフ・バランス推進事業所の新規認定数(累計)              | 増加指標 | 件       | 14                 | 6      | 13     | 216.7% | 12     | 16     | 133.3% | 18     | 20     | 111.1% | 24     | 24      | 100.0% | 30          | 目標は達成しているものの、今後も事業所にワーク・ライフ・バランス推進の積極的な働きかけを行うとともに、認定事業所の取り組みについて市民等に広く紹介していく必要がある。                                                                                                      | 認定事業所と協力し、各事業所の取組の紹介による啓発活動のほか、一般事業主行動計画を作成している事業者等への認定申請の働きかけを行う。                                              |
| 14  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 多様な保育サービスの展開              | 病児保育の実施設数                                | 増加指標 | 施設      | 1                  | 3      | 3      | 100.0% | 3      | 3      | 100.0% | 3      | 3      | 100.0% | 4      | 3       | 75.0%  | 4           | 市内北部、中部、南部とバランスのとれた位置で病児保育が提供できているが、目標とする4拠点は未達成となった。                                                                                                                                    | 今後も需要に応じた病児保育の提供を維持していく。                                                                                        |
| 15  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | イクメンプロジェクトの推進             | 積極的に育児をしている父親の割合                         | 増加指標 | %       | 65.1               | 66.0   | 67.5   | 102.3% | 67.0   | 68.8   | 102.7% | 68.0   | 68.8   | 101.2% | 69.0   | 72.2    | 104.6% | 70.0        | 男性の家事・育児参加を促すため、子育てアプリ「ねねっとたかおか」における育児情報の発信や、母子健康手帳交付時に父親向けパンフレットの配布を行った。また、プレバくぐのサポートチェックリストを作成し、子育て支援ガイドブック「おおきくあ〜れ」に掲載し、啓発を行った。                                                       | 子育てアプリ「ねねっとたかおか」における育児情報の充実を図る。また、引き続き、母子健康手帳交付時に父親向けパンフレット配布を行うほか、家庭訪問や、妊娠期からの育児教室の開催等に取り組み、男性の育児参加を促していく。     |
| 16  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 結婚期から学童・思春期までのきめ細やかな支援の充実 | 10歳未満の子どもの数【再掲(No.12)】                   | 増加指標 | 人       | 11,984<br>(R1年度実績) | 12,004 | 11,499 | 95.8%  | 12,024 | 11,256 | 93.6%  | 12,044 | 11,013 | 91.4%  | 12,064 | 10,617  | 88.0%  | 12,084      | 子どもを生む可能性のある女性人口の減少、全体としての未婚率の上昇のため、出生数の減少に歯止めがかかっていない。                                                                                                                                  | 若者、女性の働く場を確保、支援の充実などにより、安心して子どもを育てられる環境を整え、支援等のさまざまな情報を発信することで、転出の抑制と転入の促進を図る。                                  |
| 17  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 子育てに係る経済的負担の軽減            | 10歳未満の子どもの数【再掲(No.12)】                   | 増加指標 | 人       | 11,984<br>(R1年度実績) | 12,004 | 11,499 | 95.8%  | 12,024 | 11,256 | 93.6%  | 12,044 | 11,013 | 91.4%  | 12,064 | 10,617  | 88.0%  | 12,084      | 子どもを生む可能性のある女性人口の減少、全体としての未婚率の上昇のため、出生数の減少に歯止めがかかっていない。                                                                                                                                  | 若者、女性の働く場を確保、支援の充実などにより、安心して子どもを育てられる環境を整え、支援等のさまざまな情報を発信することで、転出の抑制と転入の促進を図る。                                  |
| 18  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 保育環境の向上                   | 待機児童の数【再掲(No.10)】                        | 維持指標 | 人       | 0                  | 0      | 0      | 100.0% | 0      | 0      | 100.0% | 0      | 0      | 100.0% | 0      | 0       | 100.0% | 0           | 本市では待機児童はいないものの、一部の地域では希望する保育所への入園が困難な児童が発生している。需要の多い0〜2歳児の保育供給量増加に向け、幼稚園・保育園からの認定こども園への移行を推進している。                                                                                       | 待機児童がいない状態を維持しつつ、今後の児童数の推移を踏まえ、認定こども園移行及び施設の統廃合等に取り組む。                                                          |
| 19  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 子育て支援情報の発信                | 子育て支援サイト等のアクセス件数                         | 増加指標 | カウント(件) | 60,650             | 63,000 | 82,143 | 130.4% | 66,000 | 94,545 | 143.3% | 69,000 | 74,923 | 108.6% | 72,000 | 104,754 | 145.5% | 75,000      | アプリにオンライン相談機能や教室・イベントなどの予約機能を追加するなど、機能拡充に努めたことにより登録者数が増加しており、それに伴い、アプリでのアクセス数が増えている。                                                                                                     | 引き続き、きめ細かい情報発信とともに、アプリ上で予約できるイベント等を増やし、より利便性の高いものとしていく。<br>また、アンケート機能を活用し、利用者の声の把握に努め、サービスの充実につなげる。             |
| 20  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 子育て支援の場の拡大                | 放課後児童クラブの入所者数【再掲(No.11)】                 | 増加指標 | 人       | 1,190              | 1,406  | 1,290  | 91.7%  | 1,446  | 1,322  | 91.4%  | 1,446  | 1,316  | 91.0%  | 1,526  | 1,341   | 87.9%  | 1,634       | 放課後児童クラブのニーズが高まっており、公設民営の供給が追いついておらず、受け皿の確保が課題となっている。目標値を下回っているが、R5年度は新たに民間の2クラブを開設支援したことで、入所者数はR4年度からR5年度にかけて増加となった。                                                                    | 放課後児童クラブのニーズ増加が見込まれる校区において、空き教室や公共施設を利用した整備を検討するとともに、民間のクラブに対し開設支援を継続し、受皿の確保を図っていく。                             |
| 21  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 子どもの貧困対策の推進               | 学習支援事業の定員数                               | 増加指標 | 人       | 20                 | 40     | 40     | 100.0% | 40     | 40     | 100.0% | 40     | 40     | 100.0% | 40     | 40      | 100.0% | 40          | R2年度より、学習支援事業の定員を40名に増員している。                                                                                                                                                             | 学習支援事業の需要動向も見ながら、今後も学習支援を希望する方が受講できるよう、定員数の確保に努める。                                                              |
| 22  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 小中一貫教育の推進による学校教育の充実       | 9年間を通じた系統的・計画的な教育課程が円滑に実践されている学校の割合(小学校) | 増加指標 | %       | 34.6               | 80     | 76.0   | 95.0%  | 85     | 72     | 84.7%  | 90     | 72     | 80.0%  | 95     | 79      | 83.4%  | 100         | 各中学校区において、教育目標等を明記した「グランドデザイン」を作成し、これを基に各校で教育活動を進めた。また、教員の合同研修会の実施や互いの授業を参観し学びの系統性を確認するなどして、小中一貫教育を推進した。<br>教員の合同研修会や出前授業は実施したが、児童生徒の交流はコロナ禍あけであっても様子をみながら過ごしていたため十分に実施できず、目標値に到達できなかった。 | 各中学校区ごとに「グランドデザイン」を見直し、各校の教員間で共通理解し、教育活動を進める。また、中学校教員が小学校へ乗り入れ、指導目標を明確にして専門的な指導を行ったり、児童生徒の交流をしたりして、小中一貫教育を推進する。 |
| 23  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる | 小中一貫教育の推進による学校教育の充実       | 9年間を通じた系統的・計画的な教育課程が円滑に実践されている学校の割合(中学校) | 増加指標 | %       | 50.0               | 80     | 75.0   | 93.8%  | 85     | 75     | 88.2%  | 90     | 75     | 83.3%  | 95     | 92      | 96.4%  | 100         | 各中学校区において、教育目標等を明記した「グランドデザイン」を作成し、これを基に各校で教育活動を進めた。また、教員の合同研修会の実施や互いの授業を参観し学びの系統性を確認するなどして、小中一貫教育を推進した。<br>教員の合同研修会や出前授業は実施したが、児童生徒の交流はコロナ禍あけであっても様子をみながら過ごしていたため十分に実施できず、目標値に到達できなかった。 | 各中学校区ごとに「グランドデザイン」を見直し、各校の教員間で共通理解し、教育活動を進める。また、中学校教員が小学校へ乗り入れ、指導目標を明確にして専門的な指導を行ったり、児童生徒の交流をしたりして、小中一貫教育を推進する。 |



第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                       | 施 策                               | 数値目標・KPI                                                               | 区分   | 単位   | 基準値<br>(H30年度実績値) | R2年度 |      |        | R3年度 |      |        | R4年度 |      |        | R5年度 |      |        | R6年度<br>目標値 | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                                                                                                     | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------|------|-------------------|------|------|--------|------|------|--------|------|------|--------|------|------|--------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                            |                                   |                                                                        |      |      |                   | 目標値  | 実績値  | 達成率    | 目標値  | 実績値  | 達成率    | 目標値  | 実績値  | 達成率    | 目標値  | 実績値  | 達成率    |             |                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 24  | ②安心して子どもを<br>み育てられるまちをつくる  | 小中一貫教育の推進による<br>学校教育の充実           | 小学校1校あたりの児童<br>数(適正な学校規模)                                              | 増加指標 | 人    | 293               | 298  | 304  | 102.0% | 293  | 298  | 101.7% | 302  | 306  | 101.3% | 301  | 296  | 98.4%  | 342         | R2年4月に東五位小学校と石堤小学校を再編<br>統合して、五位小学校を開設した。また、同月に<br>国吉小学校と国吉中学校を再編統合して、国吉<br>義務教育学校を開設した。<br>R4年4月には、定塚小学校と平米小学校を再編<br>統合し、高陵小学校を開設した。                                                                                            | R6年4月に、五位小学校と千鳥丘小学校を再編<br>統合し、五位小学校を開設した。また、横田小学<br>校、川原小学校及び西条小学校を再編統合し、<br>高岡西部小学校を開設した。                                                                                                                                                          |
| 25  | ②安心して子どもを生<br>み育てられるまちをつくる | ICT教育の推進                          | ICTを活用した授業が日<br>常的に行われている学校<br>の割合(小学校)                                | 増加指標 | %    | 34.6              | 45   | 96.0 | 213.3% | 50   | 96.0 | 192.0% | 60   | 76.0 | 126.7% | 80   | 83   | 104.1% | 100         | GIGAスクール構想に基づき、一人一台学習専<br>用端末の整備が進み、デジタル教科書の使用、<br>動画視聴、資料提示等で日常的に端末を多用<br>し、ICT活用を推進した。                                                                                                                                         | 昨年度に引き続き、快適なネットワーク環境<br>で、デジタル教科書や大型提示装置の活用等、<br>効果的なICT活用を推進する。                                                                                                                                                                                    |
| 26  | ②安心して子どもを生<br>み育てられるまちをつくる | ICT教育の推進                          | ICTを活用した授業が日<br>常的に行われている学校<br>の割合(中学校)                                | 増加指標 | %    | 16.7              | 40   | 91.7 | 229.3% | 50   | 91.7 | 183.4% | 60   | 75.0 | 125.0% | 80   | 92   | 114.6% | 100         | GIGAスクール構想に基づき、一人一台学習専<br>用端末の整備が進み、デジタル教科書の使用、<br>動画視聴、資料提示等で日常的に端末を多用<br>し、ICT活用を推進した。                                                                                                                                         | 昨年度に引き続き、快適なネットワーク環境<br>で、デジタル教科書や大型提示装置の活用等、<br>効果的なICT活用を推進する。                                                                                                                                                                                    |
| 27  | ②安心して子どもを生<br>み育てられるまちをつくる | 地域文化を活かした独自<br>教育の推進              | 伝統工芸の銅器や漆器等<br>の制作活動を楽しむこと<br>ができた児童生徒の割合                              | 増加指標 | %    | 97                | 97   | 96   | 99.0%  | 97   | 96   | 99.0%  | 97   | 96   | 99.0%  | 97   | 96   | 99.0%  | 97          | 実習では、青貝塗りの角皿やコースター、錫の<br>フォトフレームや小物等の製作に取り組んだ。ま<br>た、小学5年生は、大学、市工芸センター、美術<br>館、伝統工芸士等の地域人材を招聘し、デザイ<br>ン学習に取り組んだ。                                                                                                                 | ・R6年度は、昨年同様、ものづくり実習や見学、<br>ふるさと地域学習を行う。高岡市の伝統工芸や<br>地域の産業について、見る、触れる、体験する<br>などにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育て<br>る。                                                                                                                                           |
| 28  | ②安心して子どもを生<br>み育てられるまちをつくる | 地域文化を活かした独自<br>教育の推進              | 地域の歴史的建造物を見<br>学したり、祭りなどの地域<br>行事に参加したりした児<br>童生徒の割合                   | 増加指標 | %    | 65.9              | 70   | 81   | 115.7% | 70   | 83   | 118.6% | 70   | 81   | 115.7% | 70   | 83   | 117.9% | 70          | 祭りなどの行事は通常どおり開催されるように<br>なり、児童生徒が実際に見学したり参加したりす<br>る機会が増えてきた。また、学習資料や地域の<br>人材を生かしたふるさと学習やデザイン学習を<br>行うなど、高岡市の歴史的建造物や祭りに対す<br>る関心が高まった。                                                                                          | ふるさと地域学習を支える校外学習の実施の<br>推奨や学習専用端末を活用したふるさと学習の<br>充実を図る。                                                                                                                                                                                             |
| 29  | ②安心して子どもを生<br>み育てられるまちをつくる | 地域文化を活かした独自<br>教育の推進              | 身の回りや地域の課題に<br>対し、自分の考えを根拠<br>に基づいて論理的にまと<br>め、相手に伝えることがで<br>きた児童生徒の割合 | 増加指標 | %    | -                 | 95   | 72.0 | 75.8%  | 75   | 75.0 | 100.0% | 80   | 83.9 | 104.9% | 80   | 86.3 | 107.9% | 80          | 昨年度と比較して、評価項目14の達成率が<br>上がったことに加え、総合評価も向上した。グ<br>ループワークを取り入れるなど、表現の場を増<br>やし内容を充実させることができた。また、事前<br>の聞き取り調査や各校との打ち合わせを行い、<br>趣旨を共有し、課題や各校の実態を把握した上<br>で、手立てを工夫したことも効果的だった。                                                       | 引き続き、事前打ち合わせ会を実施し、論理<br>コミュニケーションのねらいや内容、オンラインの<br>接続方法等の情報共有を丁寧に行い、ねらい<br>や目指す子供の姿を把握した上で、取り組む。<br>今年度もふるさとに関わるテーマを設定し、論<br>述力の育成とともに、ふるさと教育の充実を図る。                                                                                                |
| 30  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | ★数値目標                             | 創業件数(累計)                                                               | 増加指標 | 件    | 168               | 120  | 171  | 142.5% | 240  | 320  | 133.3% | 360  | 498  | 138.3% | 480  | 627  | 130.6% | 600         | 高岡市創業支援等事業計画に基づき、各種創<br>業セミナーや創業・事業承継支援補助金等を通<br>して、創業機運の醸成を図るとともに、各機関と<br>の連携による切れ目のない支援を実施した。さ<br>らに、R5年3月に「TASU(高岡まちなかスター<br>アップ支援施設)」を開設、R5年11月には「高岡<br>市／富山銀行コンソーシアム支援事業」を開始<br>し、目標を達成することができた。                            | 起業を志す方へのアプローチや起業の裾野を<br>広げる伴走型支援の展開など、引き続き、各支<br>援機関と連携し、サポート体制の充実を図ると<br>ともに、「TASU(高岡まちなかスタートアップ支<br>援施設)」や「高岡市／富山銀行コンソーシアム<br>創業支援事業」等と密に連携し、更なる創業支援<br>の取り組みを進めていく。                                                                              |
| 31  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | ★数値目標                             | 高岡市の観光客入込<br>数(暦年)                                                     | 増加指標 | 万人/年 | 385               | 389  | 183  | 47.0%  | 390  | 183  | 46.9%  | 392  | 276  | 70.4%  | 394  | 351  | 89.1%  | 396         | 新型コロナウイルス感染症が、R5年5月に5類<br>感染症に移行し、観光需要が増加したことから、<br>観光客入込数は回復傾向にあり、今後、さらなる<br>増加が見込まれる。                                                                                                                                          | R6年1月に発生した能登半島地震の復興状況<br>等も注視しながら、高岡の歴史文化やものづくり<br>産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる着<br>地型旅行商品の提案、広域連携による観光プロ<br>モーションに取り組む。                                                                                                                                   |
| 32  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | ものづくり技術等を活かした<br>新分野・新事業の展開<br>支援 | 企業訪問における新商品<br>開発販路開拓等相談件数                                             | 増加指標 | 件    | 100               | 103  | 84   | 81.6%  | 106  | 84   | 79.2%  | 109  | 56   | 51.4%  | 112  | 75   | 67.0%  | 115         | 目標達成には至らなかったが、昨年度と比較<br>し、相談件数は増加した。コロナ禍が落ち着いた<br>ことにより、企業活動が活発になり始めている兆<br>しであると考えられる。また、別件の相談の際に<br>も支援制度の周知に努めた。                                                                                                              | コロナ禍が落ち着き企業活動が活発になってき<br>ている兆候が見え始めているため、過去に制度<br>を活用したことがある企業だけでなく、新規企業<br>の掘り起こしを進めるため、積極的な企業訪問<br>を展開し、支援制度の更なる周知に努める。                                                                                                                           |
| 33  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | 海外への販路の拡大                         | バイヤー招へい事業での<br>成約件数(累計)                                                | 増加指標 | 件    | 8                 | 7    | 10   | 142.9% | 14   | 10   | 71.4%  | 21   | 10   | 47.6%  | 28   | 15   | 53.6%  | 35          | R3、R4ではコロナ禍の最中にあり、バイヤー招<br>へい事業が実施できず、実績を伸ばすことがで<br>きなかったが、新型コロナウイルス感染症が5類<br>に移行したことを受け、R5からバイヤー招へい<br>事業を再開した。コロナ禍前の水準には届かなか<br>ったが、今後、バイヤー招へい事業を継続的<br>に実施することで実績を伸ばしていく。                                                     | 昨年に引き続き、バイヤー招へい事業を実施す<br>る。また、R3、R4を除き、例年実施してきたバイ<br>ヤー招へい事業のみならず、米国(特に姉妹都<br>市であるFWを包含する中西部)への販路拡大を<br>目指し、米国バイヤーの招へいやテストマーケ<br>ティング、米国のセレクトショップ等へ直接商談<br>できる機会の創設などを検討し、海外で売れる<br>商品づくりにつなげる。                                                     |
| 34  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | 地域資源を活かした農業<br>の競争力強化             | 農産物(軟弱野菜・にんじ<br>ん)の販売額                                                 | 増加指標 | 億円   | 0.9               | 1.3  | 0.8  | 61.5%  | 1.5  | 0.7  | 46.7%  | 1.7  | 0.6  | 35.3%  | 1.9  | 0.7  | 36.8%  | 2.1         | 軟弱野菜は、若手生産者が増えたが、それ以上<br>に高齢化が進んでおり、今後、生産量の低下が<br>予想されるため、新規就農者の参入を促し、生<br>産に必要な耐雪型ハイブハウスの導入も引き続<br>き行い、生産量の増加を目指す。<br>にんじんは、R5年度に生産者が増加したが、夏<br>の高温の影響で製品率が低下したため、販売<br>額が減少した。                                                 | 軟弱野菜は、若手生産者が増えたが、それ以上<br>に高齢化が進んでおり、今後、生産量の低下が<br>予想されるため、新規就農者の参入を促し、生<br>産に必要な耐雪型ハイブハウスの導入も引き続<br>き行い、生産量の増加を目指す。<br>にんじんは、R5年度から生産者も増加している<br>ため、県・JAと連携しながら、生産量の向上を<br>図り、販売額の増加を目指す。<br>また、軟弱野菜・にんじんとともに、市単事業で<br>拡大支援に取り組んでおり、新規参入を図ってい<br>く。 |
| 35  | ③魅力的なしごとに挑<br>戦できるまちをつくる   | 事業承継の推進、担い手<br>や人材確保の促進           | 事業承継に関する相談件<br>数(累計)                                                   | 増加指標 | 件    | 13                | 30   | 12   | 40.0%  | 60   | 34   | 56.7%  | 90   | 86   | 95.6%  | 120  | 98   | 81.7%  | 150         | 引き続き、事業承継アンケートの結果をもとに、<br>「高岡市創業者支援・事業承継ネットワーク」の<br>各機関と連携し、企業訪問等の実施により、事<br>業者ニーズの把握、案件の掘り起こしを行う。ま<br>た、創業・事業承継支援補助金、事業承継支援<br>資金等、事業承継に関する支援制度の周知方<br>法の強化を図る他、後継者人材バンク等を有効<br>活用し、円滑な事業承継を支援していくととも<br>に、新規後継者候補の掘り起こしに繋げていく。 |                                                                                                                                                                                                                                                     |

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                            | 施 策                         | 数値目標・KPI                                    | 区分   | 単位    | 基準値<br>(H30年度実績値) | R2年度   |        |         | R3年度   |        |         | R4年度   |        |         | R5年度   |        |         | R6年度<br>目標値 | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                                                                                         | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------|------|-------|-------------------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                                 |                             |                                             |      |       |                   | 目標値    | 実績値    | 達成率     | 目標値    | 実績値    | 達成率     | 目標値    | 実績値    | 達成率     | 目標値    | 実績値    | 達成率     |             |                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                              |
| 36  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 地場・伝統産業の基盤強化                | 伝統産業生産額の維持                                  | 維持指標 | 百万円/年 | 11,495            | 11,495 | 10,663 | 92.8%   | 11,495 | 9,850  | 85.7%   | 11,495 | 9,804  | 85.3%   | 11,495 | 10,885 | 94.7%   | 11,495      | 目標に達しなかった要因として、ライフスタイルの変化による高額品の需要低下や事業所の減少等が考えられる。R5年度については、これまで実施してきた後継者育成や販路開拓支援のほかにも、海外への販路開拓についても支援を拡充して実施したところ。今後も海外のニーズをとらえて効果的な販路開拓支援を行っていく必要がある。                                                            | 各伝統産業組合や団体等についても継続的に支援をしていくほか、令和6年度においては令和6年能登半島地震で被災した伝統産業事業者に対する支援策を創設したことから、事業復旧に対する支援も行っていく。また販路開拓については、特に米国への販路拡大を目指し、各種支援策を講じていく。                                                      |
| 37  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 企業誘致・立地の促進                  | 立地助成制度の採択件数(累計)                             | 増加指標 | 件     | 15                | 10     | 5      | 50.0%   | 20     | 11     | 55.0%   | 30     | 17     | 56.7%   | 40     | 23     | 57.5%   | 50          | 目標に達しなかった要因として、市内の全ての団地が完売したこと、補助要件である新規雇用が確保できなかったこと等により、申請を見合わせたことが考えられる。このため、R5年度からは、空き工場などを活用した場合、雇用要件を必要としない新たなメニューの創設や、投資額の要件緩和等を開始したところである。今後も企業ニーズに対応した支援策の立案をはじめ、開発に係る相談や販路開拓等、トータル面でサポートし、設備投資の促進に向けて取り組む。 | R6年度においては、生産施設以外(外構、倉庫等)も補助対象となるよう拡充したところ。また、R6年能登半島地震で被災した企業を支援するため、既存予算内において被災企業向けの支援制度を創設した。これらが活用され、設備投資の促進が図られるよう、企業立地セミナーや企業訪問にて本市の支援制度や立地環境の優位性をより積極的にPRしていく。                         |
| 38  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 創業のシーズ発掘強化と創業者の事業段階に応じた支援   | 創業件数(累計)<br>※観光地及び中心市街地での開業件数を含む【再掲(No.30)】 | 増加指標 | 件     | 168               | 120    | 171    | 142.5%  | 240    | 320    | 133.3%  | 360    | 498    | 138.3%  | 480    | 627    | 130.6%  | 600         | 高岡市創業支援等事業計画に基づき、各種創業セミナーや創業・事業承継支援補助金等を通して、創業機運の醸成を図るとともに、各機関との連携による切れ目のない支援を実施した。さらに、R5年3月に「TASU(高岡まちなかスタートアップ支援施設)」を開設、R5年11月には「高岡市／富山銀行コンソーシアム支援事業」を開始し、目標を達成することができた。                                           | 起業を志す方へのアプローチや起業の裾野を広げる伴走型支援の展開など、引き続き、各支援機関と連携し、サポート体制の充実を図るとともに、「TASU(高岡まちなかスタートアップ支援施設)」や「高岡市／富山銀行コンソーシアム創業支援事業」等と密に連携し、更なる創業支援の取り組みを進めていく。                                               |
| 39  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 中心市街地・観光地における開業の支援          | 開業件数(累計)                                    | 増加指標 | 件     | 12                | 10     | 17     | 170.0%  | 20     | 31     | 155.0%  | 30     | 51     | 170.0%  | 40     | 65     | 162.5%  | 50          | R5年度は累計65件の新規開業となった。その内14件に対し開業支援を行っている。このことから、当支援は中心商店街、観光地周辺のにぎわいに効果をもたらしていると考えられる。                                                                                                                                | R6年度以降も、中心市街地や観光地における新規開業店舗数に直接的に寄与する事業として、引き続き支援を行う。                                                                                                                                        |
| 40  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 広域観光の推進                     | 高岡駅及び新高岡駅乗降客数(1日当たり)                        | 増加指標 | 人/日   | 24,028            | 18,000 | 17,332 | 96.3%   | 18,000 | 18,208 | 101.2%  | 18,000 | 20,486 | 113.8%  | 18,000 | 21,828 | 121.3%  | 25,200      | 新型コロナウイルス感染症が、R5年5月に5類感染症に移行し、観光需要が増加したことから、乗降客数は回復傾向にあり、目標値を上回る結果となった。今後、さらなる増加が見込まれる。                                                                                                                              | R6年1月に発生した能登半島地震の復興状況等も注視しながら、高岡の歴史文化やものづくり産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる着地型旅行商品の提案、広域連携による観光プロモーションに取り組む。<br>【数値目標・KPIについて】<br>R6年3月に策定された高岡市地域公共交通計画に基づき、数値目標・KPIを「新高岡駅・高岡駅の利用者数(1日当たりの乗客数の合計)」とする。 |
| 41  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 観光地の魅力の向上と発信                | 高岡市の観光客入込数(暦年)<br>【再掲(No.31)】               | 増加指標 | 万人/年  | 385               | 389    | 183    | 47.0%   | 390    | 183    | 46.9%   | 392    | 276    | 70.4%   | 394    | 351    | 89.1%   | 396         | 新型コロナウイルス感染症が、R5年5月に5類感染症に移行し、観光需要が増加したことから、観光客入込数は回復傾向にあり、今後、さらなる増加が見込まれる。                                                                                                                                          | R6年1月に発生した能登半島地震の復興状況等も注視しながら、高岡の歴史文化やものづくり産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる着地型旅行商品の提案、広域連携による観光プロモーションに取り組む。                                                                                            |
| 42  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | MICE(コンベンション等)及びインパウンドの誘致促進 | 外国人宿泊者数(年間)                                 | 増加指標 | 人/年   | 10,511            | 11,880 | 2,414  | 20.3%   | 12,565 | 1,714  | 13.6%   | 13,250 | 2,412  | 18.2%   | 13,935 | 6,248  | 44.8%   | 14,620      | R4年度と比較すると、約2.6倍の宿泊者数となっているが、目標値半数にも満たない状況となっており、インパウンドをはじめとするさらなる誘客促進を行う必要がある。                                                                                                                                      | R6年1月に発生した能登半島地震の復興状況等も注視しながら、高岡の歴史文化やものづくり産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる着地型旅行商品の提案、広域連携による観光プロモーションに取り組む。                                                                                            |
| 43  | ③魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる            | 観光関連産業の活性化                  | 高岡市の観光客入込数(暦年)<br>【再掲(No.31)】               | 増加指標 | 万人/年  | 385               | 389    | 183    | 47.0%   | 390    | 183    | 46.9%   | 392    | 276    | 70.4%   | 394    | 351    | 89.1%   | 396         | 新型コロナウイルス感染症が、R5年5月に5類感染症に移行し、観光需要が増加したことから、観光客入込数は回復傾向にあり、今後、さらなる増加が見込まれる。                                                                                                                                          | R6年1月に発生した能登半島地震の復興状況等も注視しながら、高岡の歴史文化やものづくり産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる着地型旅行商品の提案、広域連携による観光プロモーションに取り組む。                                                                                            |
| 44  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | ★数値目標                       | 居住誘導区域内の人口密度                                | 維持指標 | 人／ha  | 40<br>(H27実績)     | 40     | 38.9   | 97.1%   | 40     | 38.5   | 96.4%   | 40     | 38.1   | 95.3%   | 40     | 37.8   | 94.5%   | 40          | 居住誘導区域内の人口密度は、H27年度からR5年度にかけて下降傾向にある。居住誘導区域内を対象とした居住支援制度をR元年度から始めており、立地適正化計画に関する届出時に同制度を紹介しているが、今のところ居住誘導区域内の人口密度の改善までには至っていない。                                                                                      | R5年度から新婚世帯の住宅取得に関する支援を拡充しており、支援制度の更なる周知に取り組む。また、公共交通サービスの維持・改善を図り、徒歩や公共交通を利活用するライフスタイルの提案に努めていく。                                                                                             |
| 45  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | ★数値目標                       | 公共交通人口カバー率                                  | 増加指標 | %     | 77.2              | 81.8   | -      | -       | 82.2   | 74.5   | 90.6%   | 82.8   | -      | -       | 83.0   | -      | -       | 83.2        | 中田地区において、マイカーを活用した乗合交通「ノッカル中田」が本格運行を迎えたことで、市内の市民協働型地域交通システム導入地区は3地区となり、公共交通人口カバー率の改善に寄与した。                                                                                                                           | 本格運行へと移行した木津地区と野村地区の取組みを支援するとともに、これまでの事例を他地区に紹介していくことで市民協働型地域交通システムの導入を横展開させていくことで公共交通人口カバー率の改善に取り組む。                                                                                        |
| 46  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | ★数値目標                       | 関係人口の増加人数(累計)                               | 増加指標 | 人     |                   | 200    | 7,448  | 3724.0% | 400    | 11,666 | 2916.5% | 600    | 11,040 | 1840.0% | 800    | 14,480 | 1810.0% | 1,000       | 県外からのふるさと納税寄附者が増加し目標を大きく上回る関係人口の増加となった。                                                                                                                                                                              | 本市の魅力やふるさと納税に関する情報発信を通じた本市ファンの獲得に加え、地域課題の発信により本市への関りしるを明示し、本市の課題のために協力してくれる関係人口の獲得を図る。                                                                                                       |



第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                            | 施 策                                   | 数値目標・KPI                                           | 区分   | 単位 | 基準値<br>(H30年度<br>実績値)                     | R2年度   |         |        | R3年度   |         |         | R4年度   |         |         | R5年度   |         |         | R6年度<br>目 標 値 | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------|------|----|-------------------------------------------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                                 |                                       |                                                    |      |    |                                           | 目標値    | 実績値     | 達成率    | 目標値    | 実績値     | 達成率     | 目標値    | 実績値     | 達成率     | 目標値    | 実績値     | 達成率     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 47  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | ★数値目標                                 | 地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数                 | 増加指標 | 回  | 68                                        | 82     | 55      | 67.1%  | 82     | 10      | 12.2%   | 82     | 35      | 42.7%   | 82     | 53      | 64.6%   | 82            | R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、地域活動や行事を自粛する動きが緩和されてきた。<br>また、R4年度からあつまり福祉推進モデル事業が2地区(木津、国吉)で始まり、R5年度は新たに1地区(博労)で始まった。地域住民と様々な分野の支援者が協同し、各地区で異なる課題について地域の実情に合わせた解決策を構築し、総合相談体制を整えるよう取り組んでいる。                                                                                                             | R2年度に策定した「高岡地域共生あつまりプラン」に基づき、共感からはじまる地域づくり事業を進めるため、住民が住んでいる地域のことを知り、今後どんな地域にしていきたいかを話す場を設けてい。<br>またR6年度から重層的支援体制整備事業の本格実施にあたり、子どもから高齢者まで世代や分野を問わず、地域の課題について話し合い、施策につなげることができるよう、生活支援コーディネーターの委託先を地域包括支援センターから高岡市社会福祉協議会に変更した。地域への啓発周知を図っていく。                      |
| 48  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 空き家対策の推進(再掲)                          | 市内の空き家数(住宅・土地統計調査による空き家のうちその他の住宅)の増加率【再掲(No.5)】    | 減少指標 | %  | 7.3<br>(H25⇒H30の増加率)                      | -      | -       | -      | -      | -       | -       | -      | -       | -       | 25以下   | 10.1    | 247.5%  | -             | 市内の管理不全な空き家について、助言・指導を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                           | R5年度からまちなか空き家除却支援事業により、老朽危険空き家になる前に除却を促すなどの取り組みを開始したほか、所有者不存在の空家等への対応を実施する。                                                                                                                                                                                       |
| 49  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 空き家対策の推進(再掲)                          | (補足指標)<br>空き家と住まいの総合相談所に寄せられた空き家の相談件数の増加【再掲(No.6)】 | 増加指標 | 件  | 55                                        | 61     | 39      | 63.9%  | 62     | 92      | 148.4%  | 63     | 154     | 244.4%  | 65     | 181     | 278.5%  | 66            | R5年度の固定資産税納税通知書への空き家に関するチラシの同封により、空き家に対する意識啓発を図るなどの取り組みを実施し、目標を上回る相談件数となった。                                                                                                                                                                                                                           | 引き続き、総合相談所の周知に努めるほか、市民の空き家に対する関心、意識啓発を促進する取り組みにより、空き家相談等を通じた空き家対策の推進を図る。                                                                                                                                                                                          |
| 50  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | まちなか居住の推進(再掲)                         | まちなか区域における居住支援に伴う居住人数(累計)【再掲(No.9)】                | 増加指標 | 人  | 86                                        | 60     | -       | 65.0%  | 380    | 171     | 77.1%   | 440    | 201     | 85.5%   | 500    | 221     | 91.0%   | 720           | R2年度に分譲マンション(民間再開発事業)竣工を契機に、260人の居住(目標値)を見込んでいたが、R5年度末時点においては、実績値が目標値を下回った。しかしながら、R4年度からR5年度にかけても20人の増加が見られた。                                                                                                                                                                                         | Aゾーンにおける再開発事業については、R2年度から民間事業者に対して支援を行い、R5年11月に竣工を迎えたことから、更なる居住人口の増加が期待される。                                                                                                                                                                                       |
| 50  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | まちなか居住の推進(再掲)                         | まちなか区域における居住支援に伴う居住人数(累計)【再掲(No.9)】                | 増加指標 | 人  |                                           |        | 39      |        |        | 122     |         |        | 175     |         |        | 234     |         |               | たかおか暮らし支援事業との併用ができない国の支援制度の利用により、まちなか区域での申請数が減少し、目標値を下回る実績となった。                                                                                                                                                                                                                                       | 住宅取得への支援に加えて、リフォームに対する支援制度について更なる周知に努め、まちなか区域への居住促進を図る。                                                                                                                                                                                                           |
| 51  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 中心市街地、中心商店街の活性化、消費の拡大                 | 1日あたりの歩行者通行量(年間)                                   | 増加指標 | 人  | 14,425<br>(R1実績)                          | 14,789 | 10,149  | 68.6%  | 15,153 | 10,898  | 71.9%   | 15,517 | 12,217  | 78.7%   | 16,517 | 12,845  | 77.8%   | 17,517        | 今年度の歩行者通行量調査全体の数値は、去年の数値より500人以上増加しており、新型コロナウイルス感染症に伴う人流減少から回復傾向にあることが分かる。特に休日に、中心市街地へと足を運ぶ機会が増加していることが考えられる。                                                                                                                                                                                         | セリオタウン構想やリノベーションまちづくり事業の進展等による、魅力あるまちづくりを行うこと、また、コンセプトを定めた誘引性の高いイベントを開催し、中心市街地への来街を促すことにより、まちなかに対する経済循環意識を醸成し、賑わいを回帰させることに取り組む。                                                                                                                                   |
| 52  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | リノベーションまちづくりの推進                       | 1日あたりの歩行者通行量(年間)【再掲(No.51)】                        | 増加指標 | 人  | 14,425<br>(R1実績)                          | 14,789 | 10,149  | 68.6%  | 15,153 | 10,898  | 71.9%   | 15,517 | 12,217  | 78.7%   | 16,517 | 12,845  | 77.8%   | 17,517        | 今年度の歩行者通行量調査全体の数値は、去年の数値より500人以上増加しており、新型コロナウイルス感染症に伴う人流減少から回復傾向にあることが分かる。特に休日に、中心市街地へと足を運ぶ機会が増加していることが考えられる。                                                                                                                                                                                         | セリオタウン構想やリノベーションまちづくり事業の進展等による、魅力あるまちづくりを行うこと、また、コンセプトを定めた誘引性の高いイベントを開催し、中心市街地への来街を促すことにより、まちなかに対する経済循環意識を醸成し、賑わいを回帰させることに取り組む。                                                                                                                                   |
| 53  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 市街地間交通ネットワークの連携強化による「多極ネットワーク型」の都市づくり | 公共交通人口カバー率【再掲(No.45)】                              | 増加指標 | %  | 77.2                                      | 81.8   | -       | -      | 82.2   | 74.5    | 90.6%   | 82.8   | -       | -       | 83.0   | -       | -       | 83.2          | 中田地区において、マイカーを活用した乗合交通「ノッカル中田」が本格運行を迎えたことで、市内の市民協働型地域交通システム導入地区は3地区となり、公共交通人口カバー率の改善に寄与した。                                                                                                                                                                                                            | 本格運行へと移行した木津地区と野村地区の取組みを支援するとともに、これまでの事例を他地区に紹介していくことで市民協働型地域交通システムの導入を横展開させていくことで公共交通人口カバー率の改善に取り組む。                                                                                                                                                             |
| 54  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 地域連携による経済・生活圏の形成                      | 2025年までの県西部6市(とやま呉西圏域)の転出・転入を均衡(累計)                | 増加指標 | 人  | ▲ 748                                     | 0      | ▲ 1,047 | -40.0% | 0      | ▲ 2,557 | -241.8% | 0      | ▲ 2,557 | -241.8% | 0      | ▲ 2,478 | -231.3% | 0             | 圏域としては、単年で社会増減が+79となった。6市それぞれを見ると、人口流出に歯止めがかかっていない市もあるが、R4に続き、収支は改善した。                                                                                                                                                                                                                                | 地域医療・介護・福祉分野、教育・文化・スポーツ分野、生活関連機能サービスに係る分野で6市が連携し、圏域住民の生活満足度を高めるとともに、県外に転出した方が安心して戻って来られるよう、持続可能な生活関連機能サービスの提供体制を構築する。<br>また、首都圏での移住イベントを通じて、圏域外の住民との交流を図る。                                                                                                        |
| 55  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 芸術・文化活動の活性化の推進                        | 文化創造都市高岡推進事業等参加者数(年間)                              | 増加指標 | 人  | クラフト市場街<br>23,000人(H29)<br>ユニークベニユー<br>0人 | 25,490 | 21,236  | 83.3%  | 26,030 | 38,324  | 147.2%  | 26,570 | 32,362  | 121.8%  | 27,120 | 31,838  | 117.4%  | 27,670        | ユニークベニユーについては年35回「オンまちなかステージ」を開催、スペシャルコンサート、ライブ配信に取り組み、来場者数が前年比約3割増となるなど、幅広い層への芸術文化活動、鑑賞の機会を創出した。<br>市場街については、R2～4年度の間、オンライン配信を中心に事業を継続してきたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に、リアル開催に移行した。その結果、オンライン配信視聴者数が11,633件から6,324件に減少した一方、実来場者数は18,422人から22,530人に増加し、目標値を達成した。歴史的なまちなみを実際に訪れ、アートやクラフトを多くの市民に体感いただくことができた。 | ユニークベニユーについては当事業の周知を目的としてR3から実施してきたキャラバンコンサート、スペシャルコンサートはR5をもって終了する。「オンまちなかステージ」は引き続き年30回程度開催し、芸術文化活動、鑑賞の機会を創出するとともに公演時期や内容を検討し、新たな来場者層の獲得を図る。<br>市場街については、ワークショップや作品展示、オープンファクトリー等を通してものづくりのまち高岡の技・文化・人に直接触れ合える企画に取り組む。また、同時期に開催される他のイベントとも連携し、更なる集客や高岡の魅力発信を図る。 |
| 56  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 関係人口や大学生のまちづくりへの参画の促進(再掲)             | 県内大学卒業生の県内定着率【再掲(No.7)】                            | 増加指標 | %  | 51.9                                      | 52.9   | 54.9    | 103.8% | 53.9   | 55.2    | 102.4%  | 54.9   | 53.6    | 97.6%   | 55.9   | 56.4    | 100.9%  | 56.9          | 比較的県外出身者の割合が高かった富山大・富山県立大・高岡法科大について、県内企業への就職率が高まってきており、目標を達成することができた。                                                                                                                                                                                                                                 | 市内にキャンパスがある富山大・高岡法科大について、大学と連携した授業を展開している。地元のまちづくりについて学べるカリキュラムについて大学との連携を強化し、地域への愛着形成を促していくことで、さらなる学生の県内就職率の向上を図る。                                                                                                                                               |

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」KPI進捗状況一覧表

資料No.1-2

| No. | 基本目標                            | 施 策                            | 数値目標・KPI                                      | 区分   | 単位 | 基準値<br>(H30年度実績値) | R2年度    |         |        | R3年度    |         |       | R4年度    |         |        | R5年度    |         |        | R6年度<br>目標値 | 分析と対応(評価・課題)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | R6年度の取組み内容<br>(今後の方向性)                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------|------|----|-------------------|---------|---------|--------|---------|---------|-------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                                 |                                |                                               |      |    |                   | 目標値     | 実績値     | 達成率    | 目標値     | 実績値     | 達成率   | 目標値     | 実績値     | 達成率    | 目標値     | 実績値     | 達成率    |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 57  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 地域での支え合いのもと、健やかに暮らしていける共生社会の構築 | 地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数【再掲(No.47)】 | 増加指標 | 回  | 68                | 82      | 55      | 67.1%  | 82      | 10      | 12.2% | 82      | 35      | 42.7%  | 82      | 53      | 64.6%  | 82          | R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、地域活動や行事を自粛する動きが緩和されてきた。<br>また、R4年度からあつかり福祉推進モデル事業が2地区(木津、国吉)で始まり、R5年度は新たに1地区(博労)で始まった。地域住民と様々な分野の支援者が協同し、各地区で異なる課題について地域の実情に合わせた解決策を構築し、総合相談体制を整えるよう取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                    | R2年度に策定した「高岡地域共生あつかりプラン」に基づき、共感からはじまる地域づくり事業を進めるため、住民が住んでいる地域のことを知り、今後どんな地域にしていきたいかを話す場を設けていく。<br>また令和6年度から重層的支援体制整備事業の本格実施にあたり、子どもから高齢者まで世代や分野を問わず、地域の課題について話し合い、施策につなげることができるよう、生活支援コーディネーターの委託先を地域包括支援センターから高岡市社会福祉協議会に変更した。地域への啓発周知を図っている。                      |
| 58  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 豊かな生活を支える学び合いや絆づくりの機会と場の充実     | 地域のあり方に関する検討組織数                               | 増加指標 | 地域 | 0                 | 0       | 0       | -      | 8       | 2       | 25.0% | 20      | 17      | 85.0%  | 28      | 35      | 125.0% | 36          | 新たな地域のあり方として、多機能地域自治の設立に先行して取り組む2地区に対して、新たに外部アドバイザーを招聘して導入の支援を強化し、設立に向けた準備を進めることができた。<br>他地区において、多機能地域自治の必要性を理解してもらうなどの意識醸成が課題である。<br>また、4地区にモデル配置した地域担当職員は、住民の話し合いによる地域課題の洗い出し、その課題解決に向けた事業計画の策定などのサポートを行った。この取り組みで地域のあり方を検討する中で、地域では担い手の確保に苦慮しており重要課題であることがわかったことから、各地区で地域活動の事務支援を行う地域交流センターを設置することとした。<br>これによりR6年度から地域交流センターが設置されたことで、地域活動の基盤が形式上整備されたが、旧単独公民館(19地区)については、まだ生涯学習以外の地域活動に十分に関わっていない状況にある。 | 多機能地域自治については、先行した2地区に加え、新たに2地区においても外部アドバイザーによる支援を行い、設立に向けた取り組みを進めていく。これらの地区での有効性を、各地区の連合役員を対象とした事例報告会の開催や、出前講座の実施、市連合報誌での掲載でお示しながら、他地区での取り組みの拡大を図る。<br>旧単独公民館の地域交流センターに対しては、旧地区連のように様々な地域活動に幅広く関わり支援していくよう促していく。<br>なお、地域交流センターが設置されていない五位山地区については、これに替わる方策を検討していく。 |
| 59  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 豊かな生活を支える学び合いや絆づくりの機会と場の充実     | 公民館利用者数                                       | 維持指標 | 人  | 545,578           | 550,000 | 267,581 | 48.7%  | 550,000 | 250,303 | 45.5% | 550,000 | 322,737 | 58.7%  | 550,000 | 363,613 | 66.1%  | 550,000     | 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、縮小傾向にあった公民館の利用状況はコロナ前に戻りつつあるが、まだ以前の水準に達していない。このため、縮小、停止してしまった公民館活動等の早期復活が課題となっている。<br>また、SNS等を活用するなど、公民館活動のさらなる周知を図り、幅広い年齢層の公民館利用に繋げる必要がある。                                                                                                                                                                                                                                             | R6年度より公民館が新たに地域交流センターに移管され、今まで以上に幅広く利用できる地域活動の拠点としてスタートした。<br>引き続き地域住民の生涯学習の場、地域活動の場として利用していただくため、地域の実情に応じたコミュニティの拠点となるよう支援をしていく。                                                                                                                                   |
| 60  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | お互いを理解し合う、多文化共生社会の推進           | 通訳・日本語支援・ホームステイ等のボランティアの登録者数                  | 増加指標 | 人  | 168               | 170     | 128     | 75.3%  | 138     | 131     | 94.9% | 148     | 149     | 100.7% | 158     | 159     | 100.6% | 168         | 災害時外国人支援ボランティア育成研修及び日本語支援ボランティアスキルアップ研修を通して、周知・PRに取り組み、目標値を達成した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 高岡市多文化共生プラン(第3次)に基づく施策に取り組み、毎年10人ずつの増加を目指す。また、これまで新型コロナウイルスの影響でボランティア活動の場が減少していることから、ボランティアの方を対象にスキルアップ研修を実施するなど、ボランティア活動の継続につながるモチベーションの向上を図る。                                                                                                                     |
| 61  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | 歴史・文化資産を活かした魅力ある地域活動の創出        | 地域の歴史・文化資産に関するまちづくり出前講座の実施数                   | 増加指標 | 回  | 11                | 13      | 3       | 23.1%  | 14      | 7       | 50.0% | 15      | 15      | 100.0% | 15      | 15      | 100.0% | 15          | 昨年度と同数であることから、コロナ禍も明け、R4年12月に勝興寺の国宝指定を追い風に、文化財全体への意識向上が図られ、出前講座の件数は増えていると評価している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 菅野家住宅の重要文化財への追加指定など、本市の歴史・文化遺産に新たな魅力が加わることから、リーフレット等を刷新するほか、出前講座や勉強会などを通じて分かりやすく伝え、地域の宝としての更なる意識醸成を図っていく。                                                                                                                                                           |
| 62  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | スポーツで健康なまちづくりの推進               | 高岡市の体育施設の利用者数                                 | 維持指標 | 人  | 736,579(33施設)     | 736,579 | 467,412 | 63.5%  | 736,579 | 504,148 | 68.4% | 736,579 | 587,709 | 79.8%  | 736,579 | 530,136 | 72.0%  | 736,579     | 長慶寺室内プール及びスポーツレクリエーションホームを廃止したことに加え、R6年能登半島地震の影響もあり、施設利用者は減少している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 減少している施設利用者数について、コロナ禍前の状態に回復できるよう、市民へのスポーツ活動機会の提供等により一層取り組んでいく。                                                                                                                                                                                                     |
| 63  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | スポーツで健康なまちづくりの推進               | 学校開放における利用者数                                  | 増加指標 | 人  | 322,771           | 325,999 | 208,406 | 63.9%  | 329,259 | 223,762 | 68.0% | 332,552 | 228,765 | 68.8%  | 335,878 | 217,020 | 64.6%  | 339,237     | 令和5年度より、各団体からの利用者数報告が電子で行われるようになり、利便性が向上した反面、電子申請を扱いづらい方にとっては報告しにくいものとなり、利用者数の正確さにおいて課題がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 誰もが気軽にスポーツを楽しめるよう、学校開放の存在や利用方法について周知を行い、電子報告についても、操作が簡易でわかりやすいものとなるよう取り組んでいく。                                                                                                                                                                                       |
| 64  | ④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる | スポーツで健康なまちづくりの推進               | 学校開放における登録利用団体数                               | 増加指標 | 団体 | 376               | 380     | 398     | 104.7% | 384     | 276     | 71.9% | 388     | 382     | 98.5%  | 392     | 381     | 97.2%  | 396         | 利用団体数は横ばいとなっているが、過年度から利用している団体だけでなく、新規に設立された団体やニュースポーツ団体等への周知も行う必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 誰もが気軽にスポーツを楽しめるよう、学校開放の存在や利用方法について周知を行い、様々な団体が学校開放を利用できるよう取り組んでいく。                                                                                                                                                                                                  |